

工 事 履 行 報 告 書

（中間前払金用）

報告日が工期の2分の1を
経過していること。

報告日：平成 21年 8月 1日（契約日から 79日）

工 事 名： 改良工事

工 期：平成 21年 5月 15日 ~ 平成 22年 9月 30日（139日間）

請負者名： 建設株式会社 代表取締役 印

工 種 等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	自動計算		自動計算		備 考
		見積額 (円)	構成比 (%)	進捗率 (%)	出来高金額 (円)													
道路土工	予定													120,000	2.30	100.00	120,000	
	実施																	
法面工	予定													1,100,000	21.07	30.00	330,000	
	実施																	
擁壁工	予定													1,700,000	32.57	100.00	1,700,000	
	実施																	
排水物構造工	予定													1,000,000	19.16	30.00	300,000	
	実施																	
構造物撤去工	予定													200,000	3.83	100.00	200,000	
	実施																	
舗装工	予定													500,000	9.58	0.00	0	
	実施																	
区画線工	予定													100,000	1.92	0.00	0	
	実施																	
付帯工	予定													500,000	9.58	0.00	0	
	実施																	
	予定																	
	実施																	
	予定																	
	実施																	
合 計													5,220,000	100		2,650,000		
															出来高進捗率 (%)	50.77%	認定	

工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている作業が行われていること

報告日現在の進捗率

請負金額に対応した「直接工事費」ベースの合計

既に行われた作業に要する経費が請負代金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

- 注1 見積額は、直接工事費ベースで記入すること。
- 注2 構成比は、見積額の合計に占める各工種等毎の構成割合を記入する。端数処理上、100%にならない場合がある。
- 注3 進捗率は、各工種等に報告時点の状況を記入する。
- 注4 出来高金額は、各工種等に見積額に進捗率を乗じて算出し、それぞれ記入する。
- 注5 出来高進捗率（出来高金額合計÷見積金額合計）は50%以上であること。
- 注6 工程表の記入については、契約時に提出した工程表等に基づき作成すること。なお、工程に変更が生じた場合は、適宜変更すること。

自動計算	自動計算
確 認 欄	確 認 欄
主任監督員	監督員